

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:80単位
 全学共通科目:14単位
 広域選択:30単位

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	福祉の基礎を学ぶ中で、将来の進路を具体的にイメージ化する。また調査・研究に必要なコンピュータの高度なスキルを体得する。	希望に応じた履修モデルを選択。福祉専門職系では基礎的な学外実習を行う。福祉教養系では将来のキャリア形成のための学修を開始。	福祉専門職系は約1カ月の学外実習に取り組む。福祉教養系はキャリア発達演習やインターンシップ等で社会人基礎力を向上させる。	これまでの学習・研究成果をまとめ、福祉学習を集大成する。また、精神保健福祉士取得希望者はさらなる学外実習を行う。
必修	<ul style="list-style-type: none"> ヒューマンサービス演習① 情報処理論 社会福祉の原理と政策 ソーシャルワークの基盤と専門職I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉基礎演習 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉専門演習I 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉専門演習II
選択	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークの理論と方法IA/IB ソーシャルワークの理論と方法IIA/II B 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワーク演習I② ソーシャルワーク実習指導I ソーシャルワーク実習A 精神保健福祉実習指導I 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習B ソーシャルワーク演習II ソーシャルワーク演習III 精神保健福祉援助演習I 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文 精神保健福祉援助演習II 精神保健福祉実習指導II 精神保健福祉実習A/B
	<ul style="list-style-type: none"> 精神医学と精神医療 現代の精神保健の課題と支援 精神保健福祉制度論 ソーシャルワークの理論と方法III 精神障害リハビリテーション論 環境心理学 スポーツ心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 産業・組織心理学 障害者・障害児心理学 老年心理学 青年心理学 児童心理学 発達臨床心理学 家族社会学 	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダー論 セクシュアリティ論 宗教文化論 歴史社会学 犯罪と逸脱の社会学 福祉社会学 キャリア発達演習 	<ul style="list-style-type: none"> 市民社会論 カウンセリング概論 発達心理学特講 行動マネジメント パーソナリティ心理学特講
	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護を支える法制度 刑事司法と福祉 家庭福祉論 児童・家庭福祉 障害者福祉 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉調査の基礎 精神保健福祉の原理 高齢者福祉 女性福祉論 保健医療と福祉 	<ul style="list-style-type: none"> 貧困に対する支援 地域福祉と包括的支援体制 社会保障 介護概論 介護技術 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉行財政と福祉計画 福祉サービスの組織と経営 家族療法 社会福祉学特講I~IV③ 心理検査法
	<ul style="list-style-type: none"> 社会政策a/b 行政法A/B 労働法 民法A/B 経済原論 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉心理学 		

1 ヒューマンサービス演習

1年次の必修科目。前期に履修計画作り、夏季休暇中に現場実習、後期にプレゼンテーションを行います。職業への興味関心や適性を早期に見極め、計画的に履修できるよう支援します。

2 ソーシャルワーク演習

福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換、ボランティア体験などを経験し、実習を想定した実践的・具体的な相談援助技術や必要となる知識を学びます。

3 社会福祉学特講

手話による日常会話を覚え、映像やディスカッションにより、聞こえない人の生活とはどのようなものかを理解。支援制度についても学び、聴覚障害者への基礎的な支援能力を身につけます。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 保育におけるICT活用に関する研究
- 高齢者を対象としたドッグセラピーに関する研究
- 障がい者雇用の合理的配慮における一考察
- 企業における社会貢献活動に関する研究
- 子育ての今とこれから ～愛着からの一考察～
- 高齢者と犯罪に関する研究
- LGBTの国際比較に関する研究
- 女性の就労とライフイベントに関する研究
- スポーツと健康寿命
- 日本在宅医療の現状と今後の課題
- 大人の発達障害に関する研究
- 発達段階における愛着形成不全の弊害

私の

1 Week Schedule [2年次]

※他、特曜日にソーシャルワーク実習Aで学外実習があります。

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1 精神障害リハビリテーション論			精神医学と精神医療		
	2 権利擁護を支える法制度	現代の精神保健の課題と支援	地域福祉と包括的支援体制	ソーシャルワーク演習I	精神保健福祉の原理	
	3 ソーシャルワークの理論と方法A	社会福祉基礎演習			精神保健福祉制度論	
	4				保健医療と福祉	
	5	ソーシャルワークの理論と方法A				
	6					
後期	1			精神医学と精神医療		
	2	現代の精神保健の課題と支援	地域福祉と包括的支援体制	ソーシャルワーク実習指導I	精神保健福祉の原理	精神保健福祉実習指導I
	3	ソーシャルワークの理論と方法B	社会福祉基礎演習			
	4	心理学と心理的支援				
	5	ソーシャルワークの理論と方法B				
	6					

履修のポイント

「現代の精神保健の課題と支援」ではメンタルヘルスのこれまでと今後の課題を学ぶことができました。「精神保健福祉援助演習I」は精神保健福祉士の指定科目の中の一つで、クライアント役とソーシャルワーカー役に分かれてロールプレイを行うなど実践的な学びを得られます。ワーカーに必要な技法や制度面の学習も行いました。

学びから得たこと

社会福祉の学習は多岐にわたり、子どもに関する福祉制度から高齢者に対する制度に加えて、ソーシャルワーカーとして必要なコミュニケーションに関する技法を学びました。在学中から実践できるものもあり、講義が終了した瞬間から自分の知識として活用できるところが、社会福祉学を学んだことで成長できました。

Message

患者さんの希望を叶えるソーシャルワーカーを目指して。

自分が入院した際に不安を感じた経験から、人に寄り添う医療関係の仕事をしたと漠然と考えていました。介護職をしている親戚がいたことからソーシャルワーカーという仕事を知り、社会福祉士と精神保健福祉士の受験資格を取得できる本専攻を選びました。実習以外でも、現場でソーシャルワーカーがどのような実践をしているのか学びたいと考え、社会福祉協議会でボランティア活動を行っています。病院での医療ソーシャルワーカーを目指して、病気で日常生活に障がいを抱える患者さんと早期を考えなければならない患者さんに対してその希望を叶えることができるよう、学んだコミュニケーションや制度の知識を活かした支援ができるように頑張っています。

松川 祥馬さん

社会学科 社会福祉学専攻 3年
茨城県立日立北高等学校 出身

